



①

# なかどまり町民文化祭

芸能披露や作品展示  
多くの催し行われる

日頃の成果を一堂に展示・発表する文化の祭典が、10月27日(土)～28日(日)に小泊会場、11月2日(金)～4日(日)中里会場でそれぞれ行われ、期間中、多くの来場客でにぎわいました。

今年も、名称を「なかどまり町民文化祭」へと変更して開催された同文化祭。先に行われた小泊会場では、漁火センター玄関前に展開された物産販売や魚介類販売などで、小泊の海の幸をふんだんにPRし、来場者が次々に買い求めていました。

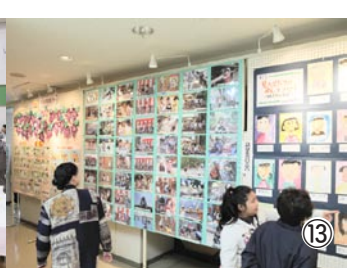
一方、中里会場では、中央公民館で行われた農産物共進会で、野菜などを展示。ほかにも米粉で作ったチヂミをふるまう試食会など、こちらは大地の恵で来場者を楽しませました。

また、文化祭といえばおなじみの発表では、両会場に多くの団体が出演。三味線や踊り、よさこいなどのほか、小泊伝統の網おこしはやし披露、パルナスでの小学校学習発表会など、盛りだくさんの内容で観客を魅了しました。





①漁のときに歌った漁撈歌【網おこしはやし】／②パルナスのステージに歌声響く【中里地域小学校学習発表会】／③小学生も茶道の世界を体験【武田茶道教室お茶会】／④ステージで生き生きと踊る【保育所発表会】／⑤あったかいホッケのすり身汁に長蛇の列【商工会振る舞い鍋】／⑥小泊といえばやっぱりコレ！【本マグロ即売会】／⑦華麗に舞った小泊権現漁火会【よさこい演舞】／⑧やった！当たった！【ウォークラリー】／⑨中学生5人組が盛り上げました【職場・グループ対抗カラオケ大会】／⑩三味線の音と手踊りで魅了【なにもささ保存会発表】／⑪キリッとした踊りが印象的【花柳穂紀桜会発表】／⑫自慢の野菜や果物を一同に【農産物共進会】／⑬この日のために子どもたちが作品を作りました【保育所・小学生・中学生などの作品展示】





# 農産物

# 加工販売施設

# 起工



## 建築概要

- 延べ床面積 1,303㎡
- 総建築費 4億7,355万円
- 構造 鉄骨平屋建造
- 内部 大豆・ジュース・びん詰め・パン・米粉などの加工室、レストラン
- 完成予定 平成25年3月

町では、かねてから町内産食材を加工する場所がほしいと要望を受けており、また、現在の農産物直売所「ピュア」の拡張が求められていました。

起工したこの加工販売施設は、農産物加工のほか、販売も行うことで農家所得の向上につなげようという意図で建築。大豆や米粉などさまざまな農産物の加工場だけでなく、レストランも完備し、来年度からのスタートを目指します。

■施設の運営方法

施設の「利用者協議会」を組織し、各部会を設置して、高品質な生産品を出荷できる体制にする予定です。

事前に行った全体説明会には、約80人の出席があり、着々と準備が進められています。

なお、この施設オープンまでは、「ピュア」の営業が続けられます。

## 工事の無事を祈願

10月10日(水)に安全祈願祭

ピュア横にある建築予定地で、関係者約30人が出席して執り行われました。

祈願祭では、小野町長による<sup>くわ</sup>鍬入れのほか、関係者の玉串奉てん、乾杯などが行われ、工事が無事終わるよう出席者が祈願しました。

小野町長はあいさつで「地産地消費意識の高まりなどから施設を建てることになった。安全確保に万全を期し、完成させてほしい」と期待を述べました。

